

各 位

会社名 株式会社高見沢サイバネティックス
代表者名 代表取締役社長 高見澤 和夫
(コード番号：6424 東証スタンダード市場)

警察庁様に当社「災危通報表示装置」を納入

「インターネット回線不要」で災害情報を受信、屋外仕様で持ち運びも容易

株式会社高見沢サイバネティックス（本社：東京都中野区、代表取締役社長：高見澤 和夫）は、警察庁様より、準天頂衛星システム「みちびき」(※1) から受信した災危通報(※2) を表示する地震警報機（当社製品名：災危通報表示装置）を採用いただき、47 都道府県警に納入いたしましたのでお知らせします。

※1 みちびき：準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システム

※2 災危通報：防災機関から発表された、地震や津波発生時の災害情報などの危機管理情報について、みちびき経由で送信する「災害・危機管理通報サービス」



警察庁様に納入した災危通報表示装置

< 背景 >

警察庁様は、大規模災害の発生時に、消防や自衛隊等と共に被災者の避難誘導や救出・救助、行方不明者の捜索等に従事されています。地震発生後の活動では、部隊員の安全管理や余震による二次災害を防ぐ観点から、地震警報機等の安全管理機材を配備されてきました。

当社は2019年度にも地震警報機（当社型式 STR-121）を納入しましたが、この度の更新にあたり、地震のみならず、さまざまな災害情報に対応できる「災危通報表示装置」を納入いたしました。

＜ 災危通報表示装置の特徴 ＞

本製品は、日本の衛星測位システム「みちびき」から災危情報を受信します。インターネット回線に依存しないため、回線障害の影響を受けることなく安定して災害情報を受信できます。

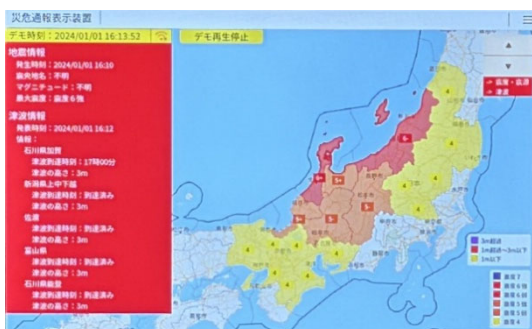
ディスプレイには①緊急地震速報 ②震源 ③震度 ④南海トラフ地震 ⑤津波 ⑥火山 ⑦降灰 ⑧気象 ⑨洪水 ⑩台風 ⑪海上 ——等の情報を表示できます。



【その他の特徴】

- **ランニングコスト不要**：情報は「みちびき」から受信し、インターネット回線は不要のため、維持費がかかりません。
- **直感的な操作**：受信した情報はタッチパネル式のディスプレイに表示されます。画面上で直接、地図の拡大・縮小や設定変更ができます。
- **携帯性**：本体はアタッシュケース形で、周辺機器一式を格納できます。質量は12kgのため、容易に持ち運びができます。
- **屋外仕様**：防水仕様のケース、GNSS アンテナ (IP67)、高輝度タッチパネル (1,000cd/m²) の採用により、災害現場等の屋外使用に適しています。

「みちびき」からの情報受信のイメージ



災危通報表示装置の表示画面のイメージ

＜ 今後の展開 ＞

当社は、1980年に開発した地震計で防災分野に参入し、計測震度計や持ち運びができる地震計など、地震に特化した防災機器を開発、気象庁や自治体、鉄道事業者様に提供してまいりました。

今回採用いただいた「災危通報表示装置」は、地震のみならず、津波や火山、台風などの幅広い災害情報の表示に対応しており、被災地の災害対策本部や避難所のほか、学校や病院、大規模商業施設などの人が集まる場所での使用を想定しております。

近年、地震や水害をはじめとした自然災害が増加しています。当社は、防災・減災に役立つ製品を提供し、皆様が安心・安全に生活できる社会インフラの構築に貢献してまいります。

【本報道に関するお問い合わせ先】

株式会社高見沢サイバネティックス

・ 広報担当 https://www.tacy.co.jp/inquiry/agreement_ir/